

## 4 出雲圏域（森林・林業）

### （1）現状と課題

出雲圏域の森林面積は37,177ha（民有林36,155ha、国有林1,022ha）で県内森林面積（524,753ha）に占める割合は約7%です。民有林における人工林面積は13,387haで、人工林率は37%と県平均と同じになっています。

スギ・ヒノキ林については木材として利用可能な森林が半分以上を占めてきており、主伐による循環型林業への取組みが求められています。人工林のマツ林は松くい虫被害により大きく減少したことから荒廃が進んでおり、森林再生による木材生産機能や公益的機能の維持増進が必要となっています。また、島根半島の出雲北山山地等では、シカによる農林作物被害や生活環境への影響があり、被害対策と保護対策という両面からの適切な対応が求められています。

圏域内の原木生産量はわずかながら増加傾向にあります。これは森林経営計画の作成や森林作業道の開設が進んだことや、木材生産団地の集約化が図られた結果です。今後は高性能林業機械による最適な作業システムの構築や、事業者が連携した効率的な森林経営計画の作成及び施業地の確保を進め、木材生産量をさらに増加させる取組みを推進していく必要があります。

木材利用分野では、木材加工施設等の整備が進み品質の高い県産材製品の製造が可能になり生産量は増加しています。また、県外への展示商談会、公共施設への利用、新製品の開発などにより県産材製品の需要拡大に向けた取組みに一定の成果を上げることが出来ました。今後は、工務店等の買い手が求める県産材製品を安定して供給できる体制の整備を進める必要があります。

しいたけ生産については、生産施設の整備を進めた結果、出荷量が増加し平成26年度に販売高が3億円を突破する状況となりました。しかし市場の要望に答えられていない状況であり、今後は年間を通じて栽培する生産者の確保や生産技術の向上により更なる出荷量の増加を目指します。

### （2）重点的取組の展開方向

#### ①原木生産・低コスト再造林の推進

原木の増産体制を整備するため、林業事業者と関係機関が連携し、実効性のある森林経営計画の作成と集約化施業を推進します。また、高性能林業機械による作業システムの改善と人材育成による生産性の向上を目指します。

伐採跡地の確実な更新と被害森林の多面的機能の再生に向け、低コスト造林の確立に取り組めます。

#### ②木材製品の品質向上・出荷拡大

県産材製品の安定供給に向け、JAS等一定の規格の製品を供給できる企業間の連携や、様々な部材を一括で品揃えする体制の構築に取り組めます。

また、ストックヤードの情報収集・発信機能を強化し、県産の建築用材が安定的に確保、供給できる体制づくりを斐伊川流域で一体となって取り組めます。

#### ③地域資源の活用

しいたけ生産について、生産体制の整備や栽培技術の向上により経営の安定と生産量の増加を目指します。さらに、新名称「神々の国出雲しいたけ」を活用した販売促進活動によりブランド力の向上を図ります。

また、発電用等の木質チップなど未利用資源を有効に活用するため木質バイオマスの利用促進に取り組めます。

#### ④公益的機能が強く災害に強い森林づくり

地域ぐるみの鳥獣被害対策を推進し、農作物被害の低減や生活環境の改善を図ります。特に出雲北山山地地域においてはシカの頭数管理、被害防止対策、生息環境整備を行い、人との共存を目標とします。そしてシカ生息域が拡大している湖北山地においては捕獲圧を高めるとともに、地域住民自らの対策も働きかけます。

また、松くい虫被害やシカによる食害などにより荒廃した森林の機能回復を図るため、治山事業による防災対策や森林整備を行います。

### ⑤ 県民・企業参加の森づくり

地域住民による海岸林の永続的な保全活動などを「みーもの森づくり事業」などの活用により支援します。

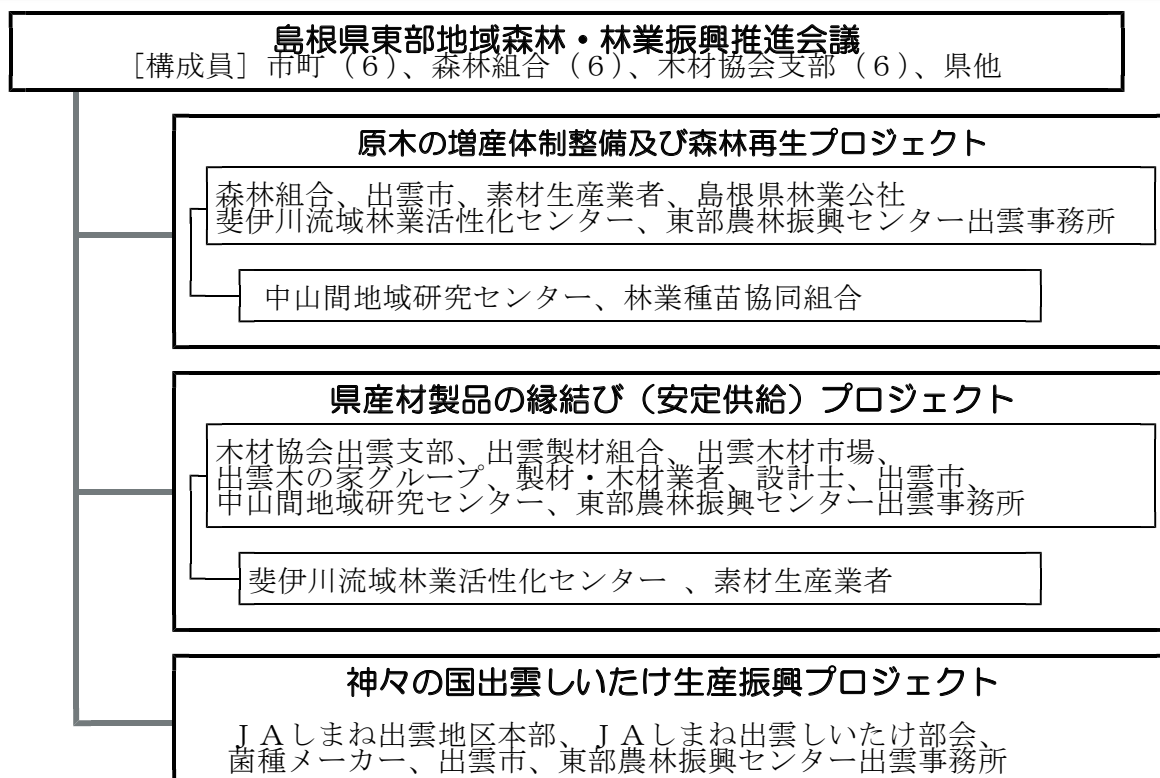
また、斐伊川流域林業活性化センターによる森林整備事業や企業のCSR活動等との連携を図りつつ、県民・企業が積極的に参加する森づくりを進めます。

### (3) 主な指標の将来見通

| 項目                                  | H26                 | → | H31                 | 備考 |
|-------------------------------------|---------------------|---|---------------------|----|
| 1 原木生産                              |                     |   |                     |    |
| ① 森林経営計画に基づく原木生産量 (m <sup>3</sup> ) | 1,800m <sup>3</sup> | → | 8,000m <sup>3</sup> |    |
| 2 森林整備                              |                     |   |                     |    |
| ① 低コスト再造林対策苗木の生産量 (本)               | 9,000本              | → | 38,000本             |    |
| 3 地域資源活用                            |                     |   |                     |    |
| ① 生しいたけ生産量 (t)                      | 361t                | → | 450t                |    |

※低コスト再造林対策苗木とは、生長に優れた精英樹苗並びに植栽効率の良いコンテナ苗

### (4) 推進体制



### (5) 地域プロジェクト

- ① 原木の増産体制整備及び森林再生プロジェクト
- ② 県産材製品の縁結び (安定供給) プロジェクト
- ③ 神々の国出雲しいたけ生産振興プロジェクト

出雲-1

原木の増産体制整備及び森林再生プロジェクト

出雲圏域（出雲市）

5つの柱の区分 [ 県民の安心と誇り 商品づくり 担い手づくり 農山漁村づくり 環境保全と多面的機能 ]

1 目的と取組

目的

森林資源が利用期を迎え、製材用・合板用の原木、木質バイオマス発電用チップの安定的な供給が求められている。

このため、集約化施業による低コスト木材生産を目指し、順次、森林経営計画の作成が行われているが、林業事業者との連携が不十分なため、伐採地情報が共有化されておらず、計画的な木材生産が行われていない状況である。

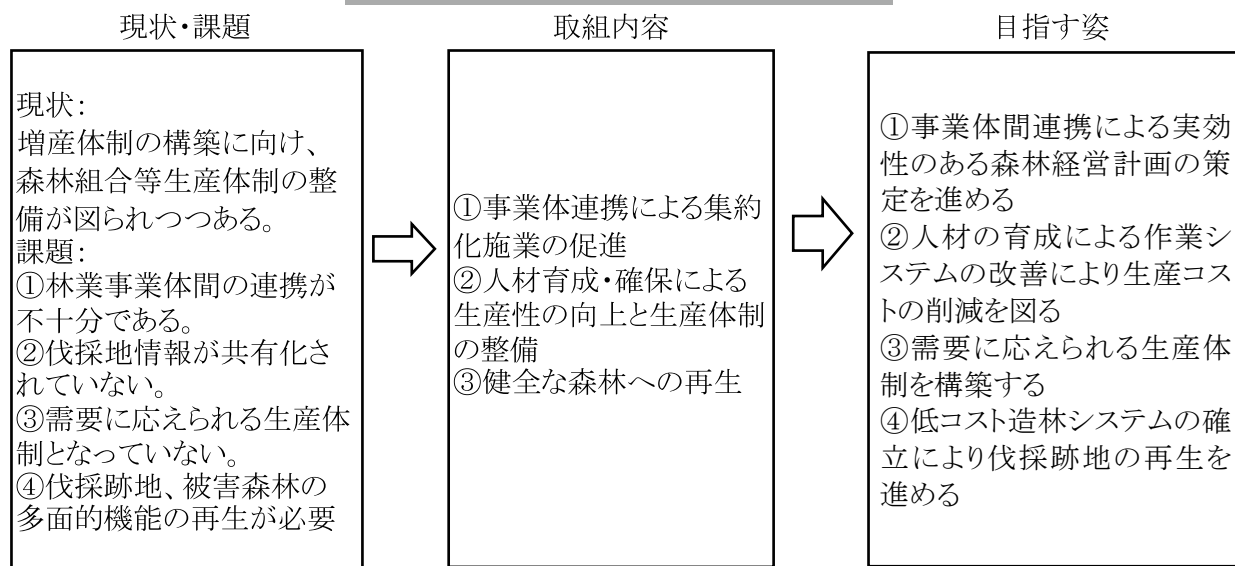
また、原木の増産に向けて、森林組合等林業事業者は高性能林業機械の導入等の体制の整備を図っているが、需要に応える生産体制とするためには更なる就業者の確保、人材の育成が必要である。

この現状を踏まえ、森林経営計画を活用した、原木増産に向けて、森林組合等林業事業者の組織体制の整備、労働生産性の向上と伐採地情報等が森林経営計画に反映される仕組みを整備する。

取組

- 事業者連携による集約化施業の促進
  - ・素材生産事業者及び関係機関等との連携の仕組みとルールづくりを行い、伐採予定地等の情報共有化を図り、集約化施業の推進に向け取り組む。また、情報の共有化による実効性のある森林経営計画の作成を進める。
- 人材育成による生産性の向上
  - ・増産体制の整備に向け各事業者の林産班の状況把握を行い、事業者の育成及び体制の整備（就業者確保等）を行う。
  - ・高性能林業機械、架線集材などの現地に適応した作業システムに対応できる、技術力の向上を図る。
  - ・コスト分析による生産性の向上に向け、作業システムの改善に取り組む。
- 健全な森林への再生
  - ・伐採跡地の確実な再生に向け、低コスト造林に取り組む。
  - ・新規苗木生産者の確保と生産者の技術向上による苗木の増産を図る。
  - ・被害森林の多面的機能の再生に向け取り組む。
- 建築用原木の供給【流域連携】
  - ・生產品別（ABCD材）の作業工程の現状把握とA材生産を組み入れた作業工程を検討する。

プロジェクトの概要



関係・連携するプロジェクト

- 需要に応える原木増産プロジェクト（県）
- 低コスト再造林推進プロジェクト（県）
- 県産材製品の縁結び（安定供給）プロジェクト（出雲圏域）

## 2 取組項目と具体的行動計画

| 取組項目             | 具体的行動                            | 主な実施主体                                | 実施期間   |
|------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 事業体連携による集約化施策の促進 | 事業体連携の仕組みとルールづくり                 | 森林組合・素材生産業者・出雲市・林業公社・東部農林振興センター       | H28～31 |
|                  | 実効性のある森林経営計画の作成                  | 森林組合・素材生産業者・東部農林振興センター                | H28～31 |
| 人材育成による生産性の向上    | 増産に向けた林産班体制の整備                   | 森林組合・素材生産業者・東部農林振興センター                | H28～31 |
|                  | 作業システムに対応できる人材の育成                | 森林組合・素材生産業者                           | H28～31 |
|                  | 事業体連携による作業システムの改善とコスト分析による生産性の向上 | 森林組合・素材生産業者・林業公社・東部農林振興センター           | H28～31 |
| 健全な森林への再生        | 低コスト造林システムの検討                    | 森林組合・出雲市・林業公社・東部農林振興センター              | H28～29 |
|                  | 苗木生産者の確保と生産技術の向上                 | 東部農林振興センター                            | H28～31 |
|                  | 被害森林の多面的機能の再生                    | 出雲市・森林組合・東部農林振興センター                   | H28～31 |
| 建築用原木の供給         | 生產品(ABCD材)に応じた作業工程の検討            | 斐伊川流域林業活性化センター・森林組合・素材生産業者・東部農林振興センター | H28～31 |

## 3 成果指標 (数値目標)

| 項目                     | 現況 (H26)            | 目標 (H31)              |
|------------------------|---------------------|-----------------------|
| 森林経営計画に基づく原木生産量 【総合戦略】 | 1,800m <sup>3</sup> | → 8,000m <sup>3</sup> |
| 低コスト再造林対策苗木生産量 【総合戦略】  | 9,000本              | → 38,000本             |

※低コスト再造林対策苗木とは、生長に優れた精英樹苗並びに植栽効率の良いコンテナ苗

## 4 推進体制

- プロジェクトメンバー：出雲地区森林組合、出雲市、素材生産業者、島根県林業公社  
斐伊川流域林業活性化センター、島根県東部農林振興センター
- 連携・協力機関：島根県中山間地域研究センター、島根県林業種苗協同組合

出雲-2

県産材製品の縁結び（安定供給）プロジェクト

出雲圏域（出雲市）

5つの柱の区分 [ 県民の安心と誇り 商品づくり 担い手づくり 農山漁村づくり 環境保全と多面的機能 ]

1 目的と取組

目的

近年、製材所は木材乾燥機や高性能加工機械の導入を精力的に図り、高品質で付加価値の高い県産材製品の製造が可能となった。また、新商品の開発や県産材利用の普及啓発によって、県産木材加工品の販売や従来県産材が利用されていなかった横架材などにも県産材の利用が拡大した。

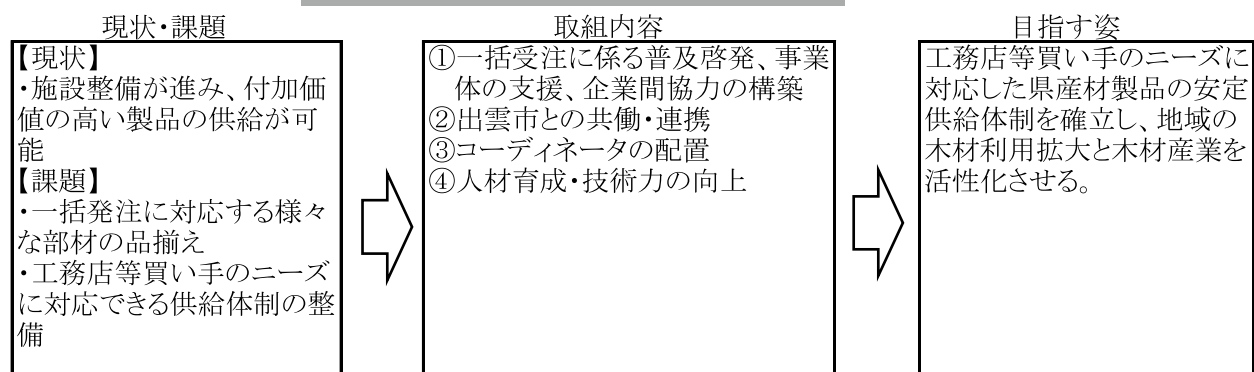
一方、木造建築において近年主流となりつつある「羽柄材・造作材を含めた一括発注」に対応出来ないため、受注を逃すことも散見される。このため、構造材のみでなく、造作材など様々な部材を一括で品揃えする体制の構築が急務となっている。

また、必要な部材が調達できる品揃えや、確かな品質といった工務店等の買い手が求めるニーズに対応するため、県産材製品の安定供給体制を整備する必要がある。このため、県産材展示販売施設「ストックヤード」を中心とした情報収集、発信機能を強化していく。そして、消費者に県産材製品を安心して購入してもらうため、JAS規格等に対応した製品を供給する企業間連携を構築すると共に技術力の向上に取り組む。

取組

- 一括受注に対応した様々な部材の安定供給
  - ・製材業者へ一括受注の重要性を普及啓発し、意識の改革を図る。
  - ・造作材の製造を指向する事業体を発掘し、必要な製材機械の導入や製材技術に係る支援を行う。
  - ・木材協会出雲支部を中心に、企業間の強固な協力体制の構築に取り組む。
- 出雲市との共働による県・市産材の活用
  - ・市庁内の推進会議などへ参画し、情報提供や相談対応を実施する。
  - ・出雲地域の関連業界の協議会などと連携し、情報提供や相談対応を実施する。
- 建築用材の生産から流通までの仕組みづくり【流域連携】
  - ・川上から川下までの関係者の意見交換や円滑な原木、製品の流通に向けた検討会を設置する。
  - ・必要な建築用材が確保できるよう、原木調達体制の構築を図る。
  - ・県産材流通の専門知識を備えたコーディネータを配置するとともに、技能の向上を支援する。
  - ・ストックヤードの情報収集、発信機能を強化し、関係事業者との協議、調整を行う。
  - ・地域材住宅の普及を図るため見学会や研修会等を開催する。
  - ・経営力、営業力、マーケティング力などの向上を図る研修を開催し、後継者や若手従業員の育成を図る。
  - ・製品製造のマニュアル化（自社基準設定）を進めるとともに、JASといった公的な認証の取得を支援する。

プロジェクトの概要



関係・連携するプロジェクト

- 木材製品の品質向上・出荷拡大プロジェクト（県）
- 原木の増産体制整備及び森林再生プロジェクト（出雲圏域）

## 2 取組項目と具体的行動計画

| 取組項目                 | 具体的行動                      | 主な実施主体                                     | 実施期間   |
|----------------------|----------------------------|--|--------|
| 一括受注に対応した様々な部材の安定供給  | 一括発注の重要性の普及啓発              | 木材協会出雲支部<br>東部農林振興センター                     | H28～29 |
|                      | 造作材製造業者への機械導入及び製材技術の支援     | 製材業者<br>東部農林振興センター                         | H28～31 |
|                      | 企業間の強固な協力体制づくり             | 製材業者<br>木材協会出雲支部<br>東部農林振興センター             | H28～31 |
| 出雲市との共働による県・市産材の活用   | 市庁内の推進会議などへの参画             | 出雲市<br>東部農林振興センター                          | H28～31 |
|                      | 関連業界の協議会との連携               | 出雲市<br>木材協会出雲支部<br>東部農林振興センター              | H28～31 |
| 建築用材の生産から流通までの仕組みづくり | 検討会の設置および意見交換会の開催          | 斐伊川流域林業活性化センター、<br>東部農林振興センター              | H28～31 |
|                      | 県産原木確保に向けた原木調達体制の整備        | 素材生産業者<br>木材協会出雲支部<br>出雲木材市場<br>東部農林振興センター | H28～31 |
|                      | 県産材流通コーディネーターの配置及び支援       | 木材協会出雲支部<br>東部農林振興センター                     | H28～31 |
|                      | ストックヤードの情報収集・発信機能の強化       | 出雲木材市場<br>東部農林振興センター                       | H28～31 |
|                      | 地域材住宅の普及                   | 斐伊川流域林業活性化センター、<br>東部農林振興センター              | H28～31 |
|                      | 生産技術研修、営業能力研修等の開催          | 斐伊川流域林業活性化センター、<br>東部農林振興センター              | H28～31 |
|                      | 製品製造のマニュアル化、JAS等公的な認証の取得支援 | 製材業者<br>木材協会出雲支部<br>東部農林振興センター             | H28～31 |

## 3 成果指標（数値目標）

| 項目                       | 現況 (H26)            | 目標 (H31)              |
|--------------------------|---------------------|-----------------------|
| 乾燥材製品出荷量 <b>【総合戦略】</b>   | 2,600m <sup>3</sup> | → 3,100m <sup>3</sup> |
| ストックヤード取扱量 <b>【地域独自】</b> | 890m <sup>3</sup>   | → 1,200m <sup>3</sup> |

## 4 推進体制

- プロジェクトメンバー：木材協会出雲支部、出雲製材組合、出雲木材市場、出雲の木の家グループ製材・木材業者、設計士、出雲市、島根県中山間地域研究センター、島根県東部農林振興センター
- 連携・協力機関：斐伊川流域林業活性化センター、素材生産業者

出雲-3

神々の国出雲しいたけ生産振興プロジェクト

出雲圏域（出雲市）

5つの柱の区分 [ 県民の安心と誇り 商品づくり 担い手づくり 農山漁村づくり 環境保全と多面的機能 ]

1 目的と取組

目的

出雲産の菌床生しいたけは、肉厚で品質が良いと市場から高い評価を得ており、年間を通じた安定的な出荷が求められている。

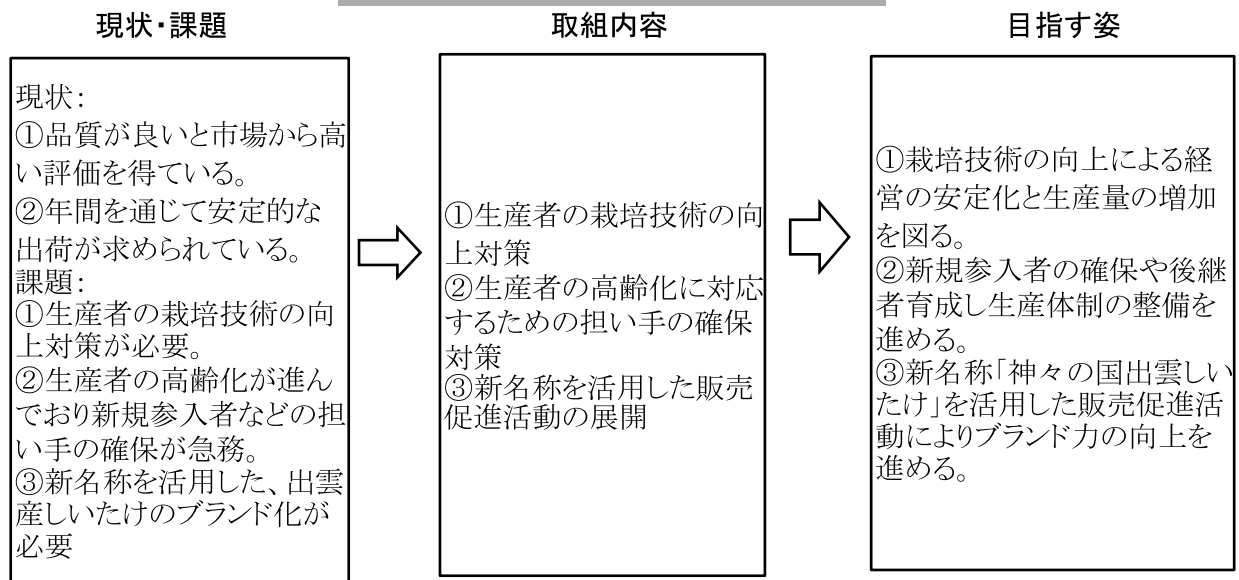
こうした市場の需要に応えるため、平成24年度から周年栽培率を高める取組みを進め、平成26年度の周年栽培農家の割合は、35%に向上し、出荷量360トン、販売金額3億2千万円となったが、市場等の需要に応えるためには、年間を通じた出荷量を増大させる必要がある。また、生産者の高齢化が進んでおり新規参入者などの担い手の確保も課題となっている。

このような状況を踏まえ、市場要望に応じて年間を通して出荷量を確保するとともに、新規参入者の確保や後継者育成、生産者の技術指導や新名称を活用したブランド力向上を図る。

取組

- 栽培技術の向上と生産体制の強化
  - ・個々の生産条件に合致した栽培・経営指導を行い、生産量の増大及び経営改善に取り組む。
  - ・年間を通して出荷量を確保するため、周年栽培用の施設の整備を促進する。
  - ・生産者の高齢化が進む中で、出雲地域の主力農産品としての地位を維持するため、既存生産者の規模拡大及び担い手の確保、後継者の確保に努める。
- 神々の国出雲しいたけの販売促進
  - ・新名称「神々の国出雲しいたけ」を活用した販売促進活動を展開する。
  - ・安全で美味しい島根県産品認証の取得に向けた取組みを行う。

プロジェクトの概要



関係・連携するプロジェクト

## 2 取組項目と具体的行動計画

| 取組項目            | 具体的行動                 | 主な実施主体  | 実施期間   |
|-----------------|-----------------------|---|--------|
| 栽培技術の向上と生産体制の強化 | 個々の生産条件に合致した栽培・経営指導   | JAしまね出雲地区本部<br>JAしまね出雲しいたけ部会<br>種菌メーカー<br>東部農林振興センター        | H28～31 |
|                 | 周年栽培に向けた取り組みの強化       | JAしまね出雲地区本部<br>JAしまね出雲しいたけ部会<br>種菌メーカー<br>出雲市<br>東部農林振興センター | H28～31 |
|                 | 生産者の高齢化に対応するための担い手の確保 | JAしまね出雲地区本部<br>JAしまね出雲しいたけ部会<br>出雲市<br>東部農林振興センター           | H28～31 |
| 神々の国出雲しいたけの販売促進 | 新名称を活用した販売促進活動の展開     | JAしまね出雲地区本部<br>JAしまね出雲しいたけ部会<br>出雲市<br>東部農林振興センター           | H28～31 |
|                 | 安全で美味しい島根県産品認証の取得     | JAしまね出雲地区本部<br>JAしまね出雲しいたけ部会<br>種菌メーカー<br>出雲市<br>東部農林振興センター | H28～31 |

## 3 成果指標（数値目標）

| 項目              | 現況 (H26)  | 目標 (H31)    |
|-----------------|-----------|-------------|
| 生しいたけ販売高 【地域独自】 | 324,000千円 | → 410,000千円 |
| 生しいたけ生産量 【地域独自】 | 361t      | → 450t      |

## 4 推進体制

○プロジェクトメンバー：JAしまね出雲地区本部、JAしまね出雲しいたけ部会、種菌メーカー  
出雲市、島根県東部農林振興センター